

## 終業式校長講話(12月24日)

校長 鈴木 健史

毎年1年生が行う、鮭の塩引き作りも今年で6年目となりました。2年生も、3年生も経験済みですね。小学校の時もやった人がほとんどなので、今年も手際がよくできました。ボランティアの方々から教えていただきながらでしたが、全部の工程をやれたのは貴重な体験となったと思います。

今年もまた、全国的に鮭が不漁の中で、瀬波温泉共栄会から鮭を準備していただきました。共栄会は瀬波温泉の旅館、ホテル、納入業者からなる会で、地域の活性化を図る会です。作った塩引き鮭の一部は、12月1日(日)から始まった越後村上塩引き街道(庄内町~小町坂付近)に出品されて、地元をPRするのに一役買いました。できあがった塩引き鮭は、共栄会の副会長でもある永徳さんがすべての管理をして切り身にしてくださいました。一人数切れずつ家に持ち帰って美味しくいただいたことと思います。共栄会の会長は、ダスキン鈴木という会社の会長です。これらの方々は、地元の子どものために惜しみなく力を貸してくださいます。本当にありがたいことです。

鮭を捕るためには、漁業法及び水産資源保護法に基づく、都道府県知事からの漁業調整規則による、その漁業を営むための許可が必要です。三面川では、三面川鮭産漁業協同組合がその許可を受けています。

問い合わせてみると、高等学校を卒業すると組合員になることができるということです。かつては、川で漁をして生計を立てることを目的としていました。漁協では、今シーズンから、伝統漁法の居繰網漁(いぐりあみりょう)とカギ漁(テンカラ漁等)以外に、組合員だけが、ウライ(一括採捕施設)よりも上流に上がった鮭を、ルアーやフライ、餌釣りで捕ることを許可しました。(今までにも、2017年から始まった、「鮭有効利用調査」と呼ばれる国の事業では、釣りのできる区域を河口からウライまでの間で、事前申込みにより、登録したその日、国の許可を受けた漁業者として鮭の捕獲をすることができました。)

鮭や鮎等の漁獲数が年々減少する中で、三面川の鮭等の観光資源としての価値を高めることや、組合への加入促進、持続性の向上など、様々な理由は考えられます。このことについては賛否ありますが、私は、村上に人を呼び込む仕掛けの一つになると肯定的に捉えています。

村上でも同じ現象が見られますが、全国各地の里山が荒廃して、野生動物が暮らすエリアと人間が暮らすエリアの区別が曖昧(あいまい)になっていると言われます。このことで、熊や猿、イノシシ、鹿などが現れ、人や農作物への被害が深刻となっています。なぜ、このように荒廃したかといえば、人が山の恵みを利用した生活をしなくなり、里山に人が住まなくなったからだと言います。

村上の過疎が進み、村上に人が住まなく(住めなく)なっては困ります。村上に人が訪れ、村上に住む人の生活が成立し、村上に暮らす人が誇りと自信をもって暮らすことこそが大切です。人口が減り、生活が不便になるとますます人口流出に拍車がかかります。

私は三面川鮭産漁業協同組合員として多くの休日を川風に吹かれて過ごしています。川でも海でも山でもいいのです。このような、自然の中での実体験こそが現代人には必要です。しかし、自然体験には危険も伴いますから、そのことに造詣(ぞうけい)の深い人の同行が必要となります。このような経験があれば、自然の大切さや危険性を認識することができます。人間としての知恵や技能も身に付きま

す。  
さて、明日から冬休みです。家でゲームや動画三昧ではなく、スキーやスノボ等のウインタースポーツにでもチャレンジしてほしいと思います。また、1月に会いましょう。

## 全ての観客に感動をもたらした麗華祭

観客全てに感動をもたらす一中伝統の麗華祭が、今年度は10月25日（金）、26日（土）の2日間開催で行われました。合唱コンクールでは、昨年度同様、ネット配信も行われました。笑いあり涙ありの心に残る麗華祭となりました。

### 学習発表会

初日の25日（金）は、村上市岩船郡わたしの主張大会の本校代表者である3年T. Tさんの「子どものままで」、郡市科学研究発表会に出場した3年C. Kさんの「紙の折れる限界を知る」、広島派遣事業に参加したK. Mさんの発表がありました。これまでの各教科での学びを踏まえ、体験したことや実験から考えたことを3人とも堂々と発表しました。

2日目の26日（土）には、にいがた総おどり祭に出演した総おどり部の演舞、そして吹奏楽部による演奏でした。総おどり部は、「05神楽」および「まほろば」の演舞を体育館いっぱいに披露し、会場を大いに盛り上げました。吹奏楽部は、「オレンジ」と「情熱大陸メインテーマ」を披露しました。昼休みや放課後等、練習を積み重ねてきたそのメロディーに、会場の誰もが魅了されました。



### MDSライブ

毎年恒例となった生徒会企画のMDS（Murakami Daiichi Stage）ライブが行われました。今年度は、生徒会本部の皆さんによる某音楽番組を模した司会進行で、ときおりどこかでみたCMを交えた展開の中に、有志によるダンスや歌、バンドを挿入しながら、工夫を凝らした内容で観客を楽しませました。日頃の歌声に更に磨きがかかったカッコいい姿や、普段は見せない意外な一面を見ることができ、普段とのギャップに歓声が飛び交っていました。会場の生徒たちや保護者の皆様の温かい雰囲気の中、出演者と会場が一体となり、盛り上がる事ができたライブでした。



## 「七音心響 ～思い出に残る一曲を～」 合唱コンクール

例年借用していた村上市ふれあいセンターが、9月より改修工事のため使用することがかなわなかったため、今年度は朝日の総合文化会館をお借りしての合唱コンクールとなりました。どのクラスもこれまでの練習の成果を発揮して、すばらしい合唱を聴かせてくれました。また、学年合唱では、聴いている人の心を揺さぶるほどの感動的なものとなりました。そして全校合唱。今年度は3年生両クラスと2年2組が金賞を獲得し、感動の涙に包まれた合唱コンクールでした。



## ふるさと村上をもっと知るために

今年も1年生を対象に、塩引鮭づくり体験授業を11月15日（金）行いました。村上の伝統文化である塩引鮭づくりを通して、村上の伝統文化の継承と郷土愛を育むことをねらいとして例年実施しています。今年も昨年度に引き続き、学校長自らが塩引き鮭づくりの第一講師として包丁を握りました。

また、地域コーディネーター富樫さんが募った、塩引鮭づくりボランティアの方々を講師としてお招きしました。さらに、特別ゲストとして、鮭を提供くださっている瀬波温泉共栄会会長の鈴木茂光様、マスコットキャラクター「せなみん」も、一中生のために講演に来てくださいました。特に、今年度は鮭の不漁が心配されていたのですが、朝早くから永徳さんが素晴らしく大きな鮭を、玄関前にたくさん届けてくださいました。

小学校での体験活動は一部のみで魚を直接扱うことはしていないようですが、中学校では、ヌメリや内臓取り、塩の擦り込みなど、生徒は塩引き鮭づくりの全行程を体験することができました。悪戦苦闘していましたが、班で協力しつくることが出来ました。また、普段は見ることのない学校長の包丁さばきに、生徒達は驚いていました。



## 学校運営協議会について

11月14日（木）に、学校運営協議会が開催されました。学校長から双翼祭の成功の御礼と猛暑対策への経緯、部活動地域移行等、報告を行い、その後今年度上半期の学校の様子について生徒、保護者の学校評価アンケート、教職員による学校評価（知・徳・体・学校運営）を用いて学校、生徒の詳細な様子を情報交換しました。

委員の方からは「会議前の授業参観では、どの学年の生徒も落ち着いて一生懸命学習に取り組んでいる様子が見られた」「人数は少なくなっているが、どの生徒も素直で良い子たちである」等の御意見を頂きました。引き続き、地域に誇れる村上第一中学校となるよう、尽力してまいります。



## お互いの気持ちによりこう、ほっとコミュニケーション集会

11月22日（金）に、村上南小、瀬波小6年生が来校し、ほっとコミュニケーション集会（いじめ見逃しゼロスクール集会）が開催されました。この集会は小中連携の取組の一つとして、児童生徒間のコミュニケーションを図る場とし、よりよい人間関係づくりについて考え、学校生活に生かすことを目的として行われました。

今年度は、演題を「相手の本音を察する」と題し、鈴木太郎さんから御講演いただきました。今年度は例年と異なり、講師の方の演奏及び歌の披露があり、昨年度とはまた異なった趣向の講演で、生徒は最初から最後まで興味を轆かれています。

講演会の後、異学年混合の小集団で、個々に感じたことや学んだことを共有し、よりよい人間関係を築くために自分たちができることを話し合いました。より良い人間関係の形成を目指して、3校の生徒が前向きな話し合いを行う、とても貴重な時間となりました。



## 生徒会役員選挙～先輩から後輩へ、村上第一中の伝統を引き継ぐために～

12月11日（水）に次期生徒会役員選挙の立会演説会が行われました。当初、6日（金）に行う予定でしたが、急な天候の悪化から体調を崩す生徒が増加したことより急遽スケジュール変更を余儀なくされました。責任者からは候補者の人柄等が、候補者からは、具体的な選挙公約等が説明されました。深々としたお辞儀や体育館中に響く第一声の挨拶など、候補者の熱量が、ひしひしと伝わってくる演説でした。有権者である他の生徒は、候補者が生徒会役員にふさわしいかどうかを判断するために、真剣なまなざしで聴き入っていました。立会演説会により、生徒会の意義や会員としての役割を再確認し、よりよい生徒会をつくる意識を高められたようです。選挙の結果、以下のように決定しました。これからの三人の活躍に期待しています。

生徒会長 T. Uさん	副会長 K. Rさん	書記長 S. Kさん
----------------	---------------	---------------



## 一中生大活躍 各種大会・検定等結果

●令和6年度新潟中学校新人卓球大会  
女子団体 第3位 1年男子個人 優勝 K.N



●郡市読書感想文コンクール 優良賞 K.F



## 冬季休業中の登下校および緊急連絡先について

冬季休業中の学校活動時間は以下の通りとなります。平常時よりも朝は遅く、夕方は早くなります。なお、部活動の練習試合等、特別な日程で活動する際は、担当より実施計画等を配付しますのでそちらを確認してください。

学校活動開始時刻 : 8時30分 ( 生徒玄関開錠は 8時10分 です )  
部活動終了時刻 : 11時30分 ※保護者会練習は各部保護者会の活動計画に従ってください。  
下校バス時刻 : 11時45分

※登校時、早朝の玄関での話し声は周囲の住民の迷惑となるため、上記時間を守ってください。

学校閉庁日、週休日、夜間の緊急連絡先・・・村上市教育委員会 (72-6882)

\*お名前、用件、電話番号をお伝えください。

## 1月の主な予定

6	月	3年生 第4回実力テスト
7	火	3学期始業日、生徒会三役任命式
8	水	単元テストⅡ
9	木	教育相談 (3年生のみ) 9,10,14,15日の4日間
10	金	執行委員会
22	水	専門委員会
23	木	3年生 三者面談 ~28(火)まで
24	金	英語検定
27	月	部活動集会
30	木	アントレプレナーシップ教育講演会 2,3限
31	金	メディアコントロール強調週間 ~2/6(木)まで 漢字検定





令和6年度 一中作品展

